

令和5年度 第2回三田市地域日本語教育推進懇話会 次第

日時：令和6/2024年3月14日（木）10：00～

場所：三田市役所本庁舎3階 303AB会議室

（オンライン併用）

1 開会

2 あいさつ

3 報告及び意見交換

今年度の取り組みと来年度の予定について 資料1

4 その他

次回の予定

- ・令和6/2024年5～6月 令和6年度第1回三田市地域日本語教育推進懇話会

今年度の取組と来年度の予定について

1. 実施事業

(1) 地域調整会議

第1回：令和5年6月30日(金) 15:00～17:00

第2回：令和6年1月26日(金) 14:00～15:30

(2) 日本語教師による日本語講座

①【名称】初級日本語教室「さんだ・くらしのにはんご教室」春コース（三田地区会場）

【目標】暮らしのなかで出会う様々な場面で必要な日本語が理解できる。コミュニケーションがとれる。

【実施回数】12回（1回2時間）

【対象及び受講者数】日本語初級レベル 10人

【日時】令和5年4月23日～7月9日 各日曜日 10:30～12:30

【実施場所】三田市まちづくり協働センター

【受講者募集方法】市広報多言語版、チラシ、協会HP、HIAメルマガ、日本語サロンで案内等

【内容】自己紹介、災害、買い物、薬局で、薬を買う、病院受診、書類（役所・銀行）の書き方等。テキスト：「できる？できた！くらしの日本語（HIA）」

【日本人参加者】地域日本語教育コーディネーター2人、協力者6人、見学者有

【成果と課題】出席率79%。成果：緊張していた学習者も、学習が進むにつれ、笑顔が増え自分から発話することが多くなった。「今まで調子が悪くても市販の薬を飲んでがまんしていたが病院に行ってみようと思う」という声もあった。日常生活につながる具体的な内容で学習者の達成感が大きい。課題：欠席時の連絡方法、少し上のレベル対応方法の検討。

【関係機関との連携】HIA

②【名称】初級日本語教室「さんだ・くらしのにはんご教室」秋コース（ウッディタウン地区会場）

【目標】暮らしの中で出会う様々な場面で必要な日本語が理解できる。簡単なやり取りができる

【実施回数】12回（1回2時間）

【対象及び受講者数】日本語初級レベル 7人

【日時】令和5年9月10日～11月26日 各日曜日 10:00～12:00

【実施場所】ウッディタウン市民センター

【受講者募集方法】市広報多言語版、チラシ、協会HP、HIAメルマガ、日本語サロンで案内等

【内容】知り合う、食べる、捨てる、安全に暮らす、治す、書く（転入書類）、荷物を送るなど。テキスト「できる？できた！くらしの日本語（HIA）」

【日本人参加者】地域日本語教育コーディネーター2人、協力者6人、見学者有

【成果と課題】出席率66.6%。成果：学習者同士が日本語を媒介として会話し、親しくなることができていた。参加をきっかけに日本語を話すことに積極的になり仕事を始めた受講者もいる。既存教室の支援者も今までのペア学習と違った形での支援や内容を知ることができた。課題：日本語レベル差がある中での「ひらがな・カタカナ」などゼロ初級者の支援方法や欠席者への対応。

【関係機関との連携】 HIA

③【名称】「地域の防災訓練に参加しよう」

【目標】自治会と協働し、災害時を想定した日本語学習と支援の実践を通じて、Win-Win の関係を構築する。

【対象】日本語初級レベル

【日時】令和6年1月20日（土）9：30～12：00

【実施場所】三田市立松が丘小学校

【受講者募集方法】市広報多言語版、チラシ、協会HP、HIAメルマガ、日本語サロンで案内等

【内容】地域の防災訓練に参加。小グループに入り一緒に体験。水消火器訓練、AED、炊き出し等。参加：37人（外国人16人、支援者5人、通訳5人、スタッフ等11人）

【成果と課題】成果：地域のスタッフが積極的に参加者に声掛けをしていた。地域の人と関わることが良かった。課題：大勢の人を前にして日本人が普通の速さで話すと、わからない日本語がある。

【関係機関との連携】 HIA、松が丘小学校区まちづくり協議会、三輪南部地域担当市職員

（3）住民参加型イベント

①【名称】日本語学習支援に関心のある人向け講座：「日本語教室がつなぐ地域と外国人」

【目的】外国人が地域社会と繋がるために、日本語支援者に何ができるかその役割を考える。

【対象】外国人への日本語学習支援、外国人とのコミュニケーションに関心のある人

【日時】令和5年8月26日（土）15：00～17：00

【会場】まちづくり協働センター 多目的ホール

【内容】外国人が置かれている現状や地域日本語教室と支援者の果たす役割を学んだ。講師：公益財団法人とよなか国際交流協会 山野上 隆史さん。参加：27人

【成果と課題】成果：「とてもわかりやすかった」「実践してみようと思う」との感想が多かった。教室の課題がわかり、今後のボランティア活動のヒントを得た。課題：周知方法

②【名称】やさしい日本語講座（一般向け）：「つかってみよう やさしいにほんご」

【目的】「やさしい日本語」を広く周知し、多くの人に関心を持ってもらう。

【対象】一般市民（やさしい日本語に関心のある人）

【日時】令和5年11月18日（土）13：30～16：00

【会場】まちづくり協働センター 情報交流広場

【内容】「やさしい日本語」について一般市民も興味を持つようクイズ形式で行った。広くPRするためFriendship Day in SANDA（外国人との交流イベント）内で実施。講師：兵庫県日本語ボランティアネットワーク代表 村山 勇さん。参加：43人

【成果と課題】成果：事前申し込みなくその場で参加でき、1セッションが短時間（30分）と短いことから、普段関心がない人にも気楽に参加してもらえた。「楽しかった・わかりやすかった」という感想が多かった。子どもの参加もあり、普段、日本語教育や外国人に関わる機会の少ない人に知ってもらい良い機会となった。課題：日本人への「やさしい日本語」の周知がまだまだ不十分で、外国人が使う日本語だと思う人が多い。

③【名称】やさしい日本語講座（事業者向け）：「職場におけるやさしい日本語」

【目的】事業者へやさしい日本語の普及啓発を行うとともに、外国人への日本語教育にあつ

て、これまでつながりが持てていなかった事業者との連携のきっかけとする。

【対象】外国人を雇用している事業所、雇用を検討している事業所、公共団体の職員など

【日時】令和6年1月12日（金）14：00～16：00

【会場】まちづくり協働センター 多目的ホール

【内容】職場での外国人とのコミュニケーションに不安や課題を抱えている事業所の方に、具体的な事例やワークを交えて実践的に「やさしい日本語」を使ったコミュニケーション方法を知ってもらう。講師：聖心女子大学教授 岩田 一成さん。参加：38人

【成果と課題】成果：福祉関係事業者に参加いただくことができた。具体例があり、分かりやすかった、楽しかったとの感想があり好評だった。課題：受付時に混乱したため、受付名簿の作成方法を検討する必要がある。

2. 令和5年度のまとめ

(1) 苦勞したこと・課題

- ・会場の確保：連続講座で同じ部屋を毎回確保するのが難しかった。
- ・開催場所について、外国人住民が多いと思われるウディタウン地区で開催したが、思ったほど参加者増加につながらなかった。参加しやすい講座開催に向け要因分析等の必要がある。
- ・欠席者や急を要する場合の連絡方法の検討。

(2) 工夫したこと

- ・「日本語教室」最終日に修了式を行った。学習の成果の確認のため「学習記録」を渡し、学習の達成感を感じてもらった。
- ・学習者の日本語レベルにあわせ、協力者がグループの席でフォローした。
- ・既存教室と情報共有し連携を密にした。
- ・学習者の座席配置について、学習レベルや宗教（異性が隣同士にならないよう配慮）等工夫した。
- ・協力者が毎回異なる学習者と関わるようにした。

3. 令和6年度以降の計画

(1) 地域日本語教育コーディネーターの配置

(2) 市町地域調整会議（三田市地域日本語教育推進懇話会）の開催

(3) 「生活者としての外国人」に対する日本語教室の実施

- ・「さんだ・くらしのほんご教室」の開催
- ・ニーズに応じたテーマ型講座の開催

(4) 日本語教育人材に対する支援講座の開催

(5) 地域日本語教育に付随して実施される地元の人々との交流活動や文化理解のための取り組み

- ・やさしい日本語についての啓発講座